

Eメールのマナーについて

T.A. 津崎

平成 19 年 5 月 30 日

はじめに

以下のことが当たり前かそうでないか、どう思うかは人それぞれですが、送ったメールが相手に届くか保証はありません。また、届いてもそのメールを受け取る人が嫌な思いをしてしまわないように、メールにはマナーというものがあります。携帯電話でのメールでは友達同士の感覚でやりとりすると思いますが、PCのメールを交わす相手は友達ではない場合が非常に多いと思うので、相手に失礼のないよう今のうちにメールのマナーを身につけておきましょう。

あと、間違ってもウイルスを送りつけたり、個人情報を送ったりはしないように。

また、緊急の連絡に電子メールを使うのは避けてください。

もし、途中のサーバが止まっていたりしていたら、そこからそのメールが止まっていたり行方不明になっていたたりすることが多々あるからです。

件名をつける

送るメールに件名（題名）をつけることによって、メールを受け取った人が大まかな内容を把握出来たり、後でそのメールを読みたいときに探しやすくなるなどのメリットがあります。送るメールの要点を考え、それを件名につけて下さい。

名乗る

まずメールを受け取った人は、必ずしもそのメールが誰から送られてきたメールが分かるわけではありません。携帯電話のメールでは友達のアドレスを互いに登録し合っているかもしれませんが、PCでもそうしているとは限りません。本文の始めに、まず自分が誰なのか名乗りましょう。名前と所属を文末に書くことを

している人もたくさんいます。じゃあそれでいいじゃないかと思うかもしれませんが、それではメールを受け取った人は本文の最後を読むまで誰からかのメールが分かりません。メールを受け取る人もすぐ誰からのメールが分かったほうがいいので、最初に名乗りましょう。

大きなファイルを添付しないように

相手に何かしらのデータを送るとき、間違っても大きすぎるファイルを送らないでください。大きなファイルを添付するとサーバにはじかれて届かないことが多々あります。目安としては、人それぞれですが、1MB に抑えるべきでしょう。特に、写真を送るなら基本的に 100KB 以下に圧縮すべきでしょう。ファイルを添付するときは、そのファイルのサイズを意識しましょう。

複数のファイルを送るならそれらを圧縮する

複数のファイルを送るのだったらそれらを圧縮してひとつのファイルにまとめましょう。そうした方が、送受信を速く済ませることが出来ます。

CC に自分のアドレスを書くように

郵便物が 100% 届くという保証がないように、PC でのメールも 100% 届くわけではありません。その原因に、メールを送信する自分自身のミスがあったりもします。そんなことがないように、相手に送るメールを CC で自分にもそれと同じものを同時に送り、自分にも同じものが届いたか確認することによって、相手に届いたかどうかの最低限の確認がとれます。

言葉遣いに気をつける

いずれ研究室に配属されたら先生にメールを送る機会があるかもしれません。普段先生に対して敬語で話すように、メールでも言葉遣いに気を配った文章を書きましょう。

メールを送る前に 1 度読み直す

メールを送信する前にメールの内容を確認しましょう。相手にとって不愉快なメールではないか、添付するはずのファイルをちゃんと添付しているか、大事な要点を伝えそびれていないか等、ちゃんと確認しましょう。

おわりに

PCでのメールだと携帯電話でのメールやチャットとは違って、やり取りを短時間で何度も繰り返すことはそんなにありません。伝えたいことの背景に、相手の知らないことがあったらそれもきちんと説明しなければなりません。悪い例として図1を挙げます。

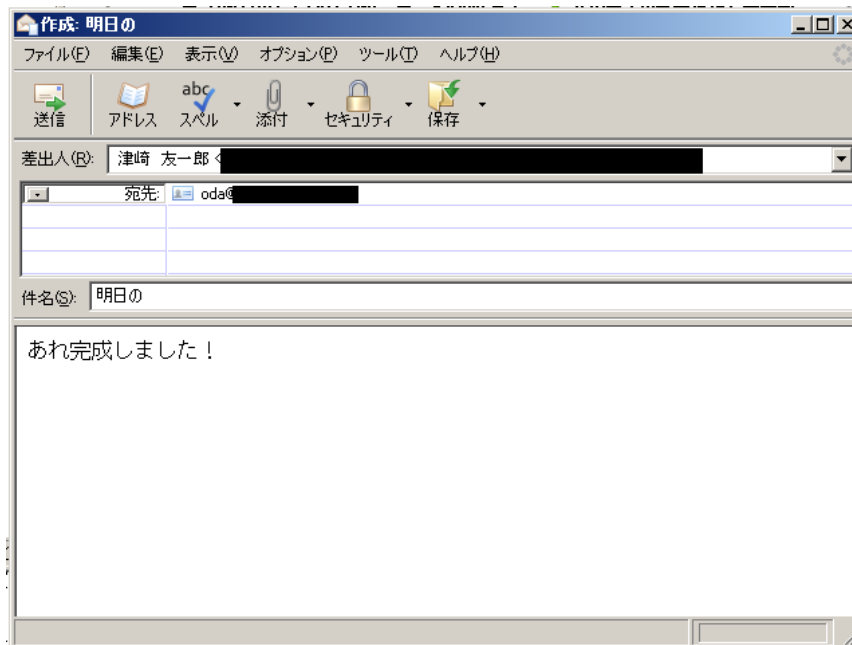


図 1: 送信メールの悪い例

きっとこのメールを受信した人は、誰からのメールが分からないし、何が完成したのかも分かりませんよね。相手に伝えたいことが何かを伝え、必要に応じてその伝えたいことに補足などをしないと相手には伝わりません。それらを訂正したものとして図2を挙げます。

送信	アドレス	スペル	添付	セキュリティ	保存
差出人(B): 津崎 友一郎 <[redacted]> - b0332@svr01.damp.tottori-u.ac.jp					
宛先: oda@[redacted]					
Cc: hoshi@[redacted]					
件名(S): 【情報リテラシー】メールマナー文章の件					
小田さんへ cc: 星先生 津崎です。 毎回のプロジェクター等の準備ありがとうございます。 情報リテラシーのメールマナーについての文章完成しました。 添付しておきます。 至らないところがあって修正を加えなければならないところがあれば、お手数ですが直してください。 印刷宜しく願います。 では。 応用数理工学専攻 Youichiro Tsuzaki <[redacted]>@svr01.damp.tottori-u.ac.jp>					

図 2: 図 1 の訂正版

これならきっとメールを受信した人に伝えたい内容が通じるでしょう。こんな感じで、伝えたいこととその背景を相手に伝えられるメールを作成出来るようにしましょう。